

発行所 近畿税理士政治連盟 発行人 南出力利 編集人 村木眞志

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> MAIL info@kinzeisei.jp

「信貴山」奈良県平群町

撮影：住吉支部 榎本芳美

焦点

テレビを見ていると番組が突然中断され、首相の会見があるという。何事かと思う間もなく、首相辞任の会見が始まった。またしても…である。国の安全と国民の生活を守るべき国の代表者が、これほどまでに簡単にその職を辞せるものなのだろうか、と、素朴な疑問をもった。首相の突然の辞任というものは、日本での種々の政策局面に多大の影響を与えるであろうし、対外的にも信頼関係を損ないかねない重要なことであると、素人考えでもわかる。辞任に至るまでの原因とか経緯とかを、報道されてはいるけれど、首相という地位がそれほどまでに軽いものかと残念で仕方

がない。

政治家に対するひとつひとつの不満の積み重ねは、大きな政治不信の波となり、それがひいては税政連の活動に対する不信感にもつながりかねない。税政連の活動を全会員に理解され支持が得られるようにと、税理士による後援会と連携して築き上げた成果も一瞬にして消えてしまうこともある。そうならないためにも、我々の業界にとって、なぜ政治活動が必要なのかという原点に立ち戻って、真剣に考えてみる時ではないだろうか。絶えることない努力によって築かれた現在の税理士制度を、魅力を持ったまま未来に引き継いでいく活動こそが、今必要とされている。

第42回定期大会 会長あいさつ

内外の政治、経済、そして社会環境の変化は、年を追うごとにそのスピードを速めており、我々税理士業界や、我々のクライアントである中小企業を取り巻く環境も大きく変化をしています。

昨年7月の第21回参議院議員通常選挙において自民党が惨敗して以来、国会においては、衆参ねじれ状態となり混乱が続いておりました。また、今週、福田首相が辞任を表明いたしました。解散総選挙もいよいよ近いと考えておかねばなりません。我々は、我々の要望を実現するために自公、民主の両面対応が必要な状況は続くと思われまます。

このような環境の中で、本部におきましては、平成19年度運動方針に基づき、活動を進めるとともに、それらの根幹のテーマとして、すべての会員先生に関心を持っていただくために、税政連の思考や行動の変革に取り組んでまいりました。

平成20年度税制改正については、前年度最優先の課題として我々が取り組んできた「特殊支配同族会社の役員給与の損金不算入制度」について、与党税制改正大綱に「その適用状況を引き続き注視する」と記載されました。また、中小企業の円滑な事業の継承のための措置についても、平成21年度税制改正において実現することとなっているほか、多くの項目が実現しました。

この税制改正をリードするのは、言うまでもなく自民党税制調査会であり、自民党税調のメンバーや自民党税理士制度改革推進議員連盟所属の推薦国会議員は我々の大きな力の源となっています。要望実現のため、今後とも後援会、支部連を中心として、推薦国会議員に対する積極的な支援活動をお願い申し上げます。

昨年12月に政治資金規正法が改正され、登録政治資金監査人制度が創設されました。有資格者として我々税理士のほかに弁護士と公認会計士が規定されていますが、その中心は我々税理士であると思っております。監査対象団体は、国会議員の資金管理団体・政党支部など、全国で5千団体程度と見込まれています。税理士による国会議員等後援会も一部対象になる見込みです。

9月1日から政治資金適正化委員会において登録の受付が始まっておりますので、皆様には是非とも登録をお願いいたします。職域の拡大には積極的に対応し実績を挙げていくことが、今後の更なる税理士制度の発展につながりますので、ご協力をお願い申し上げます。

税政連活動の活性化については、後援会活動の活性化を除外して語ることはできません。そして支部・支部連の活動の活性化と連携も大変重要なことです。

前年度は「税理士による国会議員等後援会の支援に関する規程」を制定し、後援会の活動の基準を明確にいたしました。そしてこの周知を図るため後援会会長連絡会議、支部長連絡会議を開催し、ご理解を求め、またご意見を頂戴したところでございます。

今年度末までにすべての後援会がこの基準を満たすよう、ご努力をお願いするとともに、本部においても出来る限りの支援を行ってまいりたいと考えています。

我々税政連はさらなる力を養っていかなければなりません。そのために会員先生方のご理解とご参加を是非ともお願い申し上げたいと考えております。平成20年度税制改正については、一部成果を上げることが出来ましたが、今後、資格制度と強制入会制度について、我々は正々堂々と我々自身の考えを発言していかなければなりません。また税理士法の改正について対応を始めなければなりません。これらは最終的に国会の場において審議が行われることであり、我々としては政治力を強化し、我々の真の理解者、国会議員の理解者を1人でも多く増やしていくことが必要です。会員一人一人に税政連活動の意義をお伝えし、今年度にはより多くの会員が参加していただけるよう施策の展開を行ってまいりたいと考えています。各位の一層のご協力をお願い申し上げます。



南出力利会長

第42回定期大会会長あいさつ	2
第42回定期大会・国政報告会・懇親会	3
支部連ニュース	9
後援会ニュース	13
選挙2 法勉強会及び選挙支援体制の打合せ会	17

第42回定期大会・国政報告会・懇親会

～ 9 月 5 日(金)帝国ホテル大阪～

定期大会

概 況 報 告

第42回定期大会が平成20年 9 月 5 日、帝国ホテル大阪 3 階「孔雀西の間」において開催された。司会は天野香鶴子副幹事長。最初に、過去 1 年間に亡くなられた会員に対し、黙祷をささげた。



南出力利会長 あいさつ

次に、池田隼啓日本税理士会連合会会長、久野峯一日本税理士政治連盟会長、濱田健名古屋税理士政治連盟幹事長、また当連盟の名誉会長、顧問、相談役の紹介がなされた。

議事に先立って、南出力利会長の挨拶があり、続いて、議長に澤田千博代議員（姫路支部）と佐野八朗代議員（東支部）を選出し、議事に入った。

第 1 号議案、運動経過報告承認の件、第 2 号議案、収支決算承認の件について執行部の井戸本泰次幹事長より説明があった。

まず(1)税制改正では63項目の立法府に向けた「要望書」を作成し、特に緊急かつ重要と思われる14項目について機関決定を行い陳情した。

最重要の要望である「特殊支配同族会社の役員給与の損金不算入制度」については、与党税制改正大綱に「この制度の適用状況を引き続き

注視する」と記載され、与党税制調査会においてこの制度に問題があるとの認識が示された。また民主党税制改正大綱においては、税理士会の要望を受け制度の廃止が明記された。

その他(2)登録政治資金監査人制度(3)規制改革資格制度の諸問題について等12項目に及ぶ運動経過の概要が説明された。収支計算においても各項目について具体的な説明がおこなわれ、会計監事から適正であるとの監査報告があった。1、2号議案の採決が行われ、挙手多数で承認可決された。

次に3、4、5号議案が一括上程された。20年度の運動方針、委員会活動方針、収支予算の承認について執行部から説明があった。運動方針の基本は(1)進展する社会の要請に応え得る税理士制度の確立(2)公正で合理的な租税制度の確立(3)税理士の社会的地位の向上と権益の確保・拡充である。次に運動方針については、例年重点運動の概略説明を口頭で行っていたものを今年度新しい試みとして文章化したものである。その中で、本年度中に施行が予想される衆議院の解散総選挙に対して十分な対応を行い、税理士業界の真の理解者を一人でも多く当選させるべく積極的に運動を展開する。この運動方針にもとづき、6つの重点運動を強力に推進する。委員会活動については、政策、財



澤田千博(左) 佐野八朗 両議長



井戸本泰次幹事長 議案説明

務、組織、国対、選対、広報、後援会の各委員会が活動を強力に推進する。また20年度の収支予算の報告がなされた。3、4、5号議案の裁決が行われ、賛成多数で原案通り承認可決された。

次に、第6号議案「大会決議」が決議された。

議事終了後、代議員5人によって、決議文が一項目ずつ高らかに読み上げられ、大会は最高潮に達した。最後に、来賓から祝辞が述べられ、佐野吉延副会長の閉会挨拶で、定期大会は終了した。



大会決議文朗読

左から竹田泰雄、関谷洋子、富村将之
後藤加代子、刀祢真大―各代議員

来賓の祝辞

池田隼啓 日本税理士会連合会会長

「規制改革会議において、税理士法第1条の社会的公共的使命がぐらつくような意見が出てきております。たしかに規制改革そのものが悪いわけではないが、我々税理士に対しての規制改革が、はたして国民にとって健全な税理士制



池田隼啓 日税連会長

度が確立できるのかどうか、間違った規制改革に対しては断固として反対をしているわけがあります。また登録政治資金監査人制度については、税理士の職能を生かした公益的業務の一環としてぜひとも監査人に参画していただきたい」

久野峯一 日本税理士政治連盟会長



久野峯一 日税政会長

「福田首相の突然の辞任により、政局は流動化の様相を呈しており、いつ解散、総選挙が行われてもおかしくない状況になっております。国政選挙への対応は本連盟にとって最重要課題であり、税政連への国会における高い評価は各単位税政連の地域に密着した活動によるものであります。次期総選挙において会員皆様に積極的に対応していただき大きな成果を上げられるよう協力をお願いしたい」

宮口定雄 近畿税理士会会長

「税理士法第49条の11において規定されている税理士会の建議権を実行性のあるものにするためには、各政治連盟と協力して、立案段階か



宮口定雄 近税会会長

ら意見を申し述べていくことが重要であります。出来上がった状態ですでに時遅しで何も出来ないことになっていきます。政治活動を見捨てて税理士会の目的を達成することは難しい。政治力の強化は絶対に不可欠だと思っていますので税政連のご協力をお願いしたい」

(一井正彦)

国政報告会

第42回定期大会の後、国会議員等による国政報告会が田達満国対委員長の下司のもと、引き続いて行われた。本年度は福田総理の辞任表明とそれに伴う自民党総裁選挙等により、来賓国会議員の出席が危惧されたが、本人出席が17名と多数の衆参国会議員が出席した。それぞれの議員からは、現況報告や政治課題等の中で取り上げられていた最もタイムリーな話題は我々税理士が登録政治資金監査人制度において弁護士、会計士と共に有資格者とされ、政治資金団体の監査に携わることになるということであった。その他、我々に関連する特殊支配同族会社の役員給与損金不算入問題も取り上げられていた。

国政報告会に出席した議員は登壇順に竹本直一(衆・自民・大阪15区)、税理士でもある西田昌司(参・自民・京都府)、西野あきら(衆・自民・大阪13区)、中山太郎(衆・自民・大阪18区)、滝実(衆・無所属・比例近畿)、中山泰秀(衆・自民・大阪4区)、福山哲郎(参・民主・京都府)、北川イッセイ(参・自民・大阪府)、前原誠司

(衆・民主・京都2区)、北川知克(衆・自民・大阪12区)、清水鴻一郎(衆・自民・比例近畿)、鴻池祥肇(参・自民・兵庫県)、尾立源幸(参・民主・大阪府)、梅村聡(参・民主・大阪府)、北側一雄(衆・公明・大阪16区)、松本剛明(衆・民主・比例近畿)、谷口隆義(衆・公明・大阪5区)の各議員。

最後に大高友紀副会長から「我々は税理士による国会議員等後援会を結成しているが、今後とも税理士による後援会を中心にご支援を申し上げるつもりである。このような重大な政局の時期に国政報告会に多数の国会議員が出席されたことに感謝する」という言葉を閉会の挨拶とし国政報告会は終了した。(加地宏幸)

懇 親 会

国政報告会に引き続き、村木眞志広報委員長の司会により、第42回定期大会懇親会が開催された。大村恵美子副会長の開会挨拶により開会した。濱田名古屋税政連幹事長が来賓挨拶、北側一雄衆議院議員が乾杯の発声を行った。

懇親会には国政報告会に出席した国会議員のほか、多くの国会議員や前議員、首長、地方議会議員が出席し、それぞれ国政報告及び挨拶を行うとともに、各テーブルでは国会議員等と役員、代議員が懇談し懇親を深めた。

懇親会に参加した国会議員等は、平野博文衆議院議員(民主・大阪11区)、原田憲治衆議院議員(自民・大阪9区)、松浪健四郎衆議院議員(自民・比例近畿)、戸井田とおる衆議院議員(自民・兵庫11区)、二之湯智参議院議員(自民・京都府)、山本香苗参議院議員(公明・比例代表)、左藤章前衆議院議員(無所属)、中野寛成前衆議院議員(民主)、山下英利前参議院議員(自民)、野田義和東大阪市長、新田孝大阪市議会議員、権世幸蔵大阪市議会議員、水ノ上成彰堺市議会議員、中谷廣一寝屋川市議会議員、吉田稔加西市議会議員。(事務局)

定期大会 国政報告会・懇親会 ご来賓



中山泰秀 衆議院議員



谷口隆義 衆議院議員



北川知克 衆議院議員



西野あきら 衆議院議員



竹本直一 衆議院議員



北側一雄 衆議院議員



中山太郎 衆議院議員



前原誠司 衆議院議員



清水鴻一郎 衆議院議員



松本剛明 衆議院議員



滝実 衆議院議員



尾立源幸 参議院議員

定期大会 国政報告会・懇親会 ご来賓



北川 イッセイ 参議院議員



梅村 聡 参議院議員



福山 哲郎 参議院議員



西田 昌司 参議院議員



鴻池 祥肇 参議院議員



平野 博文 衆議院議員



原田 憲治 衆議院議員



松浪 健四郎 衆議院議員



戸井田 とおる 衆議院議員



二之湯 智 参議院議員



左藤 章 前衆議院議員



中野 寛成 前衆議院議員

定期大会 国政報告会・懇親会 ご来賓



山下英利 前参議院議員



野田義和 東大阪市長



新田孝 大阪市議会議員



権世幸蔵 大阪市議会議員



水ノ上成彰 堺市議会議員



中谷廣一 寝屋川市議会議員



吉田稔 加西市議会議員

代理出席の皆様

国会議員氏名	代理出席者
中馬 弘毅 衆議院議員	倉永 悦雄 秘書
柳本 卓治 衆議院議員	吉岡 孝 秘書
大塚 高司 衆議院議員	谷 尚典 秘書
松浪 健太 衆議院議員	甲斐 隆志 秘書
井上 喜一 衆議院議員	西川健太郎 秘書
西村 康稔 衆議院議員	松岡 秀明 秘書
渡海紀三朗 衆議院議員	田城 一也 秘書
高市 早苗 衆議院議員	木下 剛志 秘書
奥野 信亮 衆議院議員	奥野 新 秘書
谷川 秀善 参議院議員	永尾 哲 秘書
白浜 一良 参議院議員	田中 欣二 秘書
山下 栄一 参議院議員	柴田 重義 秘書
松井 孝治 参議院議員	木元 俊大 秘書
末松 信介 参議院議員	中西 誠 秘書
浮島とも子 参議院議員	武田 朋久 秘書
石井 一 参議院議員	嶋 雅明 秘書



支部連ニュース

大阪府第1支部連

大阪府第1支部連合会(東、南、西、港、天王寺、浪速、生野、阿倍野、東住吉、住吉、西成)第13回定期大会が8月28日、天王寺東映ホテルにおいて開催された。



松田英夫 支部連会長

来賓として本部から佐野吉延副会長、税理士による柳本卓治後援会大和田修三会長、中馬弘毅後援会石井信行会長、左藤章後援会鮎川純利会長が出席した。

岡野誠一支部連幹事長が開会を宣し、松田英夫支部連会長が「本年度は選挙の年であった。参議院選挙が行われ、第1支部連では谷川秀善議員、梅村聡議員、白浜一良議員3名が当選し責任を果たす事ができた。大阪市長選挙は、平松邦夫候補が当選し、大阪府知事選挙は橋下徹候補が大差で当選した。

後援会活動を通じて税政連の存在をアピールし、専門家としての情報を提供して税理士及び税理士業界に目を向けていただく事が必要。

先般、政治資金規正法が改正された。改正により、国会議員関係政治団体について政治資金監査が義務付けられ、その監査人は税理士、公認会計士、弁護士に限られている。我々の職域が広がった。積極的に登録政治資金監査人になることが必要である」と挨拶した。

岩水明港支部長が議長に指名され、議案の審

議に入った。議案は全議案が原案どおり賛成多数で可決承認された。

続いて、佐野近税政副会長より本部の活動報告のあと、中馬弘毅議員からのメッセージが代読された。

次に、国政報告会に移り、柳本卓治議員が「国家観、歴史観、教育観を含めてきちんとしたものを持ち、正しいことを堂々と言い、日本の良き文化や伝統を残していく政治を目指して、頑張っていきたい」と報告。左藤章前議員は「国会議員になろうとする者は、政策や知識を持つために、もっと勉強しなければならない。地についた政治をしなければならないと改めて思う」と報告した。

懇親会は、松田英夫支部連会長の挨拶から始まり盛会裏に終了した。(小川由美子)

大阪府第3支部連

大阪府第3支部連合会(茨木、吹田、豊能)第27回定期大会が8月20日(水)午後4時より、茨木納税協会会議室において開催された。



小野晃嗣 支部連会長

司会の小椋榮和副幹事長が開会を宣言、小野晃嗣会長が、要旨「税理士制度を理解していただける代議士を一人でも多く国会に送り込むことが大事。第3支部連は4つの後援会を抱えている。代議士と十分に意見交換し、私たちの思いをできるだけ聴いて頂けるよう、各後援会の

活動を充実していきたい」と挨拶した。

平山直樹副会長が議長に選出され、第1号議案から第4号議案まで、全て原案どおり満場一致にて承認可決された。次いで、来賓として大塚高司衆議院議員、中野寛成前衆議院議員、原田憲治衆議院議員、近税政本部より今中英雄副会長が紹介され、続けて祝電が披露された。

来賓の今中近税政副会長が、要旨「規制改革推進三力年計画が閣議決定された。これにより強制入会制度に踏み込んでくるのは間違いなく、税理士制度を守るために、強制入会、無償独占を死守しなければならない。ご出席の国会議員の先生方に、税理士にとり、有効で役立つ政策というものを国会壇上に上げて頂く、ということが何より大事。選挙になったら、いの一番に支援していかなければならない」と挨拶した後、南出力利近税政会長よりのメッセージを代読した。

ここで松浪健太衆議院議員が到着、来賓として紹介された後、松尾康弘副会長の閉会の辞をもって無事に大会は閉会した。

なお、本大会の後、懇談会が行われ、盛会の中散会となった。(砂邊信男)

大阪府第4支部連

残暑の続くなか、大阪府第4支部連合会(東大阪・八尾・富田林)第25回定期大会が、8月28日(木)午後5時30分より、大阪市阿倍野区の天王寺都ホテルで開催された。



雪松弘 支部連会長

来賓として河田秀雄近税政副幹事長が出席し

た。

森本博義副会長の開会宣言があり、雪松弘第4支部連会長より「規制改革会議は『強制』と『独占』を問題視している。規制改革会議の委員は上場会社の経営者が多く、税理士業のことは詳しく理解していない。現行の税理士制度は、国民納税者から見た時、信頼に足るものであり、これは、無償独占と強制入会制により支えられているものである」と挨拶があった。

続いて、議長に藤本純会員が選出され、直ちに議案審議に入り、平成19年度運動経過報告および収支決算承認の件、平成20年度運動方針承認の件および収支予算承認の件の説明があった。当該第1号議案から第4号議案すべてについて、原案通り満場一致で承認可決された。

続いて、河田税政連副幹事長より「特殊支配同族会社の役員給与の損金不算入制度」に対する税政連活動の成果等について来賓の挨拶があった。続いて石津良行会員より閉会の挨拶があり、無事大会が終了した。その後、懇親会が行われ、和やかな雰囲気のもと閉会した。

(政本彰人)

京都府支部連

京都府支部連合会第26回定期大会が8月29日、京都タワーホテルにおいて開催された。



北村善和 支部連会長

来賓として南出力利近税政会長、九鬼郁雄近税政副幹事長、前原誠司衆議院議員、清水鴻一郎衆議院議員、二之湯智参議院議員、福山哲郎参議院議員、西田昌司参議院議員、松井孝治参議

院議員、田中英夫前衆議院議員、山田啓二京都府知事(代理麻生純副知事)、門川大作京都市長が出席した。

篠田展俊副会長が開会を宣した後、北村善和会長が「この1年間、近税政と日税政の基本方針に則り、公正な租税制度の確立と税理士制度の維持発展を目指して運動してきた。特殊支配同族会社の役員給与の損金不算入制度の廃止の方向、登録政治資金監査人に税理士が加えられるなど、一定の成果はあった。また、昨年7月の参議院選挙、今年2月の京都市長選挙において、推薦した候補者が当選した。しかしながら税政連意識の高揚はいまひとつであり、それは会費収納率の低下に表れている。税政連の目的を理解し、税理士会会員に説明していくことが重要である。また、国会議員の先生方には税理士の意見をご理解いただき、国民の視点に立った租税制度の確立にご尽力いただきたい」と挨拶した。

原綱宗前支部連会長が議長に選任され議事に入り、第1号議案から第5号議案までのすべての議案が、満場一致により可決承認された。

引き続き、来賓の南出近税政会長より「税政連は本部、支部連そして後援会がひとつになって活動の成果を結実してきた。引き続き、積極的な参加と財政的な支援、特に裾野を広げる運動をお願いしたい。また、登録政治資金監査人に登録していただきたい」と挨拶があった。

来賓国会議員等が順次挨拶を行い、また、伊吹文明衆議院議員、谷垣禎一衆議院議員の祝電を披露した後、伊島睦副会長の閉会のことばをもって総会は終了した。

総会終了後、懇親会が開催され、盛会のうちに閉会となった。(吉田和之)

兵庫県第4支部連

第27回兵庫県第4支部連合会定期大会(姫路、竜野、相生)が、9月4日、姫路市の税務会館3階において開催された。

来賓として本部より井戸本泰次幹事長が出席。



澤田千博 支部連会長

司会の後藤加代子幹事長の開会宣言のあと、澤田千博会長より、福田首相の突然の辞意表明にふれ、「日本は、1人当たりGDPにおいて、アメリカに次ぐ第2位のかつての地位を今や明け渡し、国力が著しく低下している。この時期にこそ、若い力に大いに期待したい。当支部連では、兵庫11区の戸井田とおる議員、松本剛明議員、兵庫12区の河本三郎議員と、いずれも若い力を通じて、改革を進めていっていただくよう応援していく」と挨拶があった。

続いて、大会議長として山下和重会員(竜野)が就き、全議案が原案どおり承認可決された。

その後、井戸本幹事長から南出力利会長のメッセージが代読されたほか、近税政定期大会への強い参加要請と登録政治資金監査人制度を通じた社会貢献への協力が呼びかけられた。最後に尾地和芳副会長よりの閉会の挨拶で終了した。(一井正彦)

和歌山県支部連

和歌山県支部連合会定期大会が8月22日、和歌山市の和歌山県税理士会館において開催された。来賓として、近税政本部より、井戸本泰次幹事長が出席した。

司会の刀祢真大会員が開会宣言をし、後安宏彦支部連会長が「今期は、税理士による世耕弘成参議院議員の後援会設立の準備を行い、来る9月20日に設立総会を行う予定である。一人でも多くの会員が後援会に入会されることを願う。更なるご支援ご協力をお願いしたい」



後安宏彦 支部連会長

と挨拶した。

次に下林善信会員が議長に選ばれ議案審議に入り、全て原案通り承認可決された。

続いて、井戸本近政税幹事長が、本部運営への協力に対して感謝の意を述べた後、税制改正及び規制改革への近税政の取り組みの報告・後援会活動の重要性の説明・登録政治資金監査人への会員の登録を要請し、今後の更なる支援と協力をお願いを要旨とする挨拶を述べた。

第2部は北京楼に会場を変え、谷本龍哉衆議院議員が出席し、中小企業事業承継税制などについて国政報告会を行った。二階俊博衆議院議員、鶴保庸介参議院議員、世耕弘成参議院議員は秘書による代理出席であったが、議員からのメッセージを読み上げた。その後、各議員に平成21年度税制改正の要望書を渡し、その趣旨と実現に向けての協力の要請を行った。

引き続き、懇親会が開催され、谷本議員は各テーブルを回り、会員と最後まで懇談を行い、盛会のうちに閉会となった。(刀祢真大)

滋賀県支部連

滋賀県支部連合会第27回定期大会が、9月2日、大津市の滋賀ビルにおいて開催された。

来賓として上野賢一郎衆議院議員、山下英利前参議院議員、近税政本部から戸次威左武相談役と井戸本泰次幹事長が出席した。

定期大会に先立ち、鈴木康夫支部連会長から「今の税理士制度を何としても堅持していかなければならない。特殊支配同族会社の役員給与

の損金不算入制度や譲渡所得の損益通算不適用は廃止するべきである。上野賢一郎先生と山下英利先生には、我々の要望を国会の場で実現していただきたい。そのために、全力を尽くして両先生を国会の場に送り出さなければならない。さらに会費収納について、近畿で収納率が1位となったことは、全会員の協力によるものであり感謝申し上げる」と挨拶があった。



鈴木康夫 支部連会長

北村副会長が議長に選任され、第1号議案から第4号議案まで、全て原案通り満場一致で承認可決された。

来賓挨拶として、上野賢一郎議員は「福田総理の突然の辞任に驚いている。今求められているのは強いリーダーシップである。税制改正については税理士会の要望を実現するために頑張りたい」山下英利前議員は「政治日程によって税制改正が足踏みするのは避けなければならない。中小企業のアドバイザーである税理士会の声を、どれだけ税制改正案の中に盛り込んでいけるのか。私ももっと勉強して先生方の期待に応えたい」

その後の懇親会の中で井戸本幹事長から「登録政治資金監査人にぜひ登録をお願いしたい」と挨拶があった。和やかな雰囲気の中に、上野後援会の久保会長の挨拶で閉会した。取材を通じて、会員同士が和気あいあいとして和やかで、何でも言い合える雰囲気を感じた。来年度もきっと、収納率で今年度を上回ることは確実であろう。(村木真志)

後援会ニュース

中野寛成後援会定期総会

税理士による中野寛成後援会定期総会が、8月27日、ホテルアイボリーにおいて開催された。来賓として中野寛成前衆議院議員、近税政本部から井戸本泰次幹事長、大阪府第3支部連合会から小野晃嗣支部連会長の出席があった。



中野寛成 前衆議院議員

光成創幹事の司会により開会し、来賓紹介の後、村木眞志後援会会長から「後援会をもっと活力あるものにするため、会員数を三桁にしなければならない。中野前議員が今、国政の場にはいないのは非常に残念である。次の選挙では必ず当選して頂き、我々税理士のため、国民のために大いに力を発揮して頂きたい」との挨拶があった。

続いて安積重和幹事が議長に選出され、議案の審議に入った。議案については各担当者から説明があり、すべて原案通り満場一致で承認可決された。議事後、来賓の祝辞があり、中野寛成前議員からは「後援会の会員を増やして頂き、このように応援して頂いていることは大変励みになります。中小企業の健全な育成があってこそ、日本経済の成長があり、そのような中小企業の指導をされている税理士の、地位の向上にも繋がります。今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します」と挨拶があった。村木眞志後援会会長から中野寛成前議員へ

の要望の陳情が行われ、豊中市議会議員でもある栗原貴子幹事から激励の挨拶があった。引き続き祝電が披露され、赤井良男後援会副会長の閉会の挨拶で総会は終了した。

この後開催された懇親会では、後藤房二幹事長の進行のもと、後援会の新規入会者の紹介や中野寛成前議員への質問が行われ、所用で途中出席となった佐野吉延近税政副会長からの挨拶も交え、盛会のうちに終了した。(井関孝之)

原田憲治後援会定期大会

税理士による原田憲治後援会第1回定期総会が、9月11日、千里阪急ホテルにおいて開催された。来賓として原田憲治衆議院議員、近税政本部から河田秀雄副幹事長、大阪府第3支部連合会から平山直樹支部連副会長、大塚高司後援会から赤尾清之会長、松浪健太後援会から谷丸八郎会長、中野寛成後援会から村木眞志会長(近税政副幹事長)の出席があった。



原田憲治衆議院議員(右)と田中啓允後援会会長

川口純司後援会幹事長の司会により開会し、来賓紹介の後、田中啓允後援会会長から「総裁選の後、近く予定されている総選挙で、我々後援会の最大の役目は、原田議員に国会の場で活躍して頂くために、選挙で必ず当選して頂くことにある。そのため、後援会の会員が一丸となって強力に運動をしていかなければならない。是非会員の皆様の協力を賜りたい」と挨拶があった。

続いて杉山孝一副幹事長が議長に選出され、議案の審議に入った。議案については各担当副幹事長から説明があり、全て原案通り、賛成多数で承認可決された。

議事後、原田議員から「津島雄二税制調査会会長から、税理士の方々から頂いた要望にしっかりと対応していく、との伝言を受けています。政局がこのような中ではありますが、私も頑張っていきたい」と挨拶があった。

また、河田近税政副幹事長が来賓祝辞として、税政連活動及び後援会活動の報告並びに後援会対策委員会の予算について触れ、「予算以上の活動を期待する」との挨拶があった。祝電披露の後、小島隆副会長の閉会の挨拶で総会は終了した。

総会の後で催された、原田議員による国政報告会では、自民党総裁選の状況や国会の日程、想定される総選挙の日程などの説明があり、「選挙となれば、推薦はがきや電話作戦への参加をお願いしたい。税金の正しい使われ方がなされるために、役所への監査人として税理士の登用をもっと推し進め、その税理士の強制入会制度についても、`強制、というよりむしろ`当然、入会制度であるべきと考える。地元の税理士の先生方を始めとする、各業界で事業を営む方々の様々な声を、国会や関係機関に届け、施策を講じていきたい。そのために、ますますの協力と応援をお願いする」との話があった。

報告会の後、田中後援会会長から原田議員へ要望書を手渡した。報告会の謝辞が、金山薫章後援会副幹事長より述べられた。懇親会は生田哲也副幹事長の進行のもと、盛会のうちに終了した。(井関孝之)

福山哲郎後援会定期総会

税理士による福山哲郎後援会の第5回定期総会が、平成20年8月18日(月)、ホテルグランヴィア京都において、34名の参加で開催された。

来賓として、近税政本部から大村恵美子副会長、近税政京都府支部連より北村善和会長、奥村和義幹事長が出席した。また、民主党の前原



福山哲郎参議院議員

誠司後援会の村中平治会長、松井孝治後援会の林佳弘会長、そして京都税理士協同組合からは廣瀬来三相談役、清水久雄相談役も来賓として出席した。

芦田勝博幹事長の司会により開会し、作見蔵市後援会会長が「福山先生が議員になられて丸10年が経過した。過去2回の選挙では、いずれもトップ当選されている。今後も国会の場で、ますますご活躍頂けるよう応援していきたい」と挨拶した。

続けて総会議事に入り、芦田幹事長より明瞭かつ簡潔な事業報告と会計報告がなされ、参加者全員の拍手により承認可決された。

次いで、大村近税政副会長、北村支部連会長からお祝いの挨拶があった。

総会の最後に福山議員が登壇し、議員活動の報告がユニークになされた。昨年秋から今年にかけて多くのテレビに出演されたが、その録画の一部をスクリーンに再現し、その時のテーマと自身の熱い思いを紹介された。「朝まで生テレビ」ではライフワークである地球温暖化問題、「報道ステーション」ではガソリン暫定税率や道路特定財源について、「NEWS23」では国交省の甘い道路計画問題、「日曜討論」では年金記録問題、高齢者医療制度の問題についての討論の模様等であったが、「福山哲郎10年間のまるわかり(後援会会報誌)」や当日用のレジュメを使いながらの、ビジュアルに訴えた非常に分かりやすい報告であった。

松井孝治後援会の林会長の乾杯で始まった懇

親会では、若くて気さくな福山議員らしく、参加した会員と歓談し、「福ちゃんへ質問」のコーナーでは、永田町の近況報告等も飛び出し、有意義なひと時を過ごした。

最後は木村守相談役の中締めの挨拶をもって、盛会のうちに終宴となった。(矢田善久)

二ノ湯さとし後援会定期総会

税理士による二ノ湯さとし後援会定期総会が、平成20年8月1日、京都センチュリーホテルにおいて開催された。



二ノ湯さとし参議院議員(右)と今西衛後援会会長

来賓として近畿税理士政治連盟から南出力利会長、九鬼郁雄副幹事長、近畿税理士政治連盟京都府支部連合会から北村善和会長、奥村和義幹事長が出席した。

谷口康夫幹事長の司会により開会。今西衛後援会会長から、日頃の後援会活動へのお礼と今後のより一層の協力をお願いする挨拶があった。

次いで総会に入り、原綱宗会員を議長に選任し、第1号議案から第4号議案まで全ての議案が満場一致で承認された。

来賓として、南出力利近税政会長からは、「税政連での後援会活動の重要性と今回制定された後援会支援に関する規程のご理解をお願いしたい」、北村善和支部連会長からは、「税務手続きの簡素化と税理士法改正が論じられている中で、二ノ湯先生のご支援、ご協力をお願いしたい」と挨拶があった。

引き続いて二ノ湯さとし議員から、詳しい国政報告のあと「国及び地方の厳しい財政事情の

根源の問題は、少子高齢化ではないかと思う。年金、後期高齢者医療制度と、国民の相互扶助の精神のもと、子供や孫に負担を押しつけない制度設計が必要であり、同時に、地方でできることは地方に任せ、国の行政機構のスリム化をすすめなければならない」との挨拶があった。

この後、廣瀬相談役の乾杯の発声で、懇親会が開宴した。二ノ湯さとし議員が各テーブルを回り、参加した役員、会員と親しく歓談し、石原豊副会長の閉会の辞をもって終了した。(笹岡憲一)

大塚高司後援会定期総会

税理士による大塚高司後援会第1回定期総会が8月29日、豊中市の千里阪急ホテルにおいて開催された。



大塚高司衆議院議員(前列左から4人目)

来賓として、近税政本部より天野香鶴子副幹事長、近畿税理士会豊能支部より小島隆支部長(大阪府第3支部連合会副会長)、守部浩二副支部長、税理士による原田憲治後援会より川口純司幹事長が出席した。

高原誠一郎副幹事長が司会となり開会を宣言した後、赤尾清之会長が「ご来賓に対するお礼と現在の税理士会における税理士政治連盟の重要性を理解し、後援会にご協力いただきたい」と挨拶した。

来賓祝辞として、天野近税政副幹事長より「政治資金規正法が改正され、登録政治資金監査人制度が創設された。この制度はぜひとも税理士が主力となるべきである。職域拡大には積極的に対応していきたい。税制においても、相続税法

の改正など懸案がある。また、税理士法改正も取り組み始めなければならない。大塚先生にはぜひとも、あらゆる面でご指導を賜りたい。後援会として大塚先生を盛り立てていただきたい」と挨拶があり、小島支部長より「現在、ガソリン代の値上げをはじめ経済状況の悪化に伴って、多くの中小企業に影響を及ぼしている。中小企業の現状を知る我々税理士の意見を、このような機会に聞いていただきたい」と挨拶があった。

続いて、大塚高司衆議院議員が登壇し、「地元豊中の将来的展望として、大阪経済発展のためにも、大阪国際空港の活性化に取り組んでいる。また税理士による後援会ができたことにより、確申期の視察で、高齢者に対する税制の簡素化の必要性などを感じ、今後取り組んでいきたい。これからも多くの税理士先生方の意見を頂きたい」と国政報告を行った。

次に、丹羽修二事務局長が議長に選任され議事に入り、平成19年度活動経過及び収支報告承認の件をはじめ次年度の活動方針など、すべての議案が承認可決された。

最後に親泊信明副会長の閉会挨拶をもって、定期総会は閉会した。

続いて懇親会が開かれ、大塚議員が各テーブルを回り、参加者との活発な意見交換が行われ、和やかなうちに終了した。

(森田茂稔後援会幹事長)

松浪ケンタ後援会設立総会

税理士による松浪ケンタ後援会設立総会が7月27日、たかつき京都ホテルにおいて開催された。

来賓として、松浪ケンタ衆議院議員をはじめ、近税政本部から今中英雄副会長、井戸本泰次幹事長、また大阪府第3支部連から小野晃嗣会長が出席した。

中西邦彦発起人が司会を務め開会を宣言し、松浪議員の紹介に続き、小野晃嗣発起人代表が設立趣意書を朗読した。要旨「国家の根本を支える税制に、税理士制度は必須であり、国民の



松浪ケンタ衆議院議員

ためにますます発展させなければならない。松浪議員は税理士業界ならびに中小企業に対し深い理解と認識を持たれている。ご支援申し上げ、ご指導を賜るため後援会を結成する」

その後、長井良明発起人が議長に選出され、後援会規約、役員人事、第1期事業計画が次々に承認され、谷丸八郎会長、中西邦彦幹事長ほかの役員体制が発足した。

谷丸会長が就任挨拶として「税理士制度の発展のため、松浪先生を支援していく。本部、大阪府第3支部連と連携し活動を進めていきたい。会員各位の協力をお願いしたい」と述べた。

続いて、松浪議員が登壇し、「私の親族には政治家が多く、私も政治家になるべく育てられた。ケンタという名前も、有権者に覚えてもらいやすく投票用紙に書き易いということで、祖父に付けてもらった。現在は厚生労働大臣政務官として職務に励んでいる。研究開発費の税額控除限度超過額の繰越期間延長にもかかわった。今後、税理士業界ならびに中小企業の発展のため活動していきたい」と挨拶。

この後、中川昭一元自民党政調会長の記念講演が催され、税制をはじめ年金問題、食品問題など幅広くお話をいただき、参加者一同が聞き入った。

記念講演終了後、懇親会に会場を移し、来賓の今中近税政副会長から祝辞が述べられた。乾杯の後、松浪議員が各テーブルを回り、会員一人ひとりと懇親を深められた。終始和やかな雰囲気のまま、盛会裏に終了した。(事務局)

選挙2法勉強会及び選挙支援体制の打合せ会

平成20年8月11日(月)、近畿税理士会館3階会議室において「選挙2法勉強会及び選挙支援体制の打合せ会」が行われた。

勉強会は、総務省より林崎理政治資金課長を迎え、昨年12月の政治資金規正法改正の内容と、改正により創設された登録政治資金監査人制度について、理解を深めることを目的として、本部役員と支部連・支部・後援会の役員を対象として行われた。また、近畿税理士会の公益活動対策部の部員も参加した。

小寺隆弘選対委員会副委員長の開会宣言の後、南出力利会長が「衆議院解散選挙がいつ行われるかわからないこの時期に、選挙2法についてより詳しく理解をしておくことは非常に大切である」と挨拶し、勉強会が開始された。

前半は政治資金規正法の改正の目的やその考え方、この法律で対象とされる団体、そして新しく設けられた登録政治資金監査人制度について、詳しく説明された。講演では、総務省に設置された政治資金適正化委員会のメンバーに、日本税理士連合会の池田隼啓会長が任命されていることや、登録政治資金監査人の担い手として、税理士が期待されていることが特に強調された。

後半は、選挙2法について事前になされた質問に対する回答と解説が行われ、選挙期間中の注意点についてはさらに質問が出され、受講者も熱心に聴講した。



勉強会終了後、選挙支援体制の打合せ会が行われた。始めに天野香鶴子選対委員長より、第45回衆議院議員総選挙に際しての支援体制の確立について説明があり、選挙応援の協力要請があった。次に河田秀雄後援会対策委員長より、後援会活動の現状報告と今後の活性化について



総務省 林崎理 政治資金課長

説明があった。続いて井戸本泰次幹事長より、登録政治資金監査人への登録申請の手続きについて説明があり、多くの税理士が登録するように協力を要請された。最後に、徳富勲副会長より「近税政の活動はこのねじれ国会においてますます重要である。税政連活動に積極的に協力をしていただくとともに会費の納入をお願いしたい」と挨拶があり、打合せ会は終了した。

(前川武政選対委員会副委員長)

平成20年度・会費納入にご協力を！

近畿税理士政治連盟は会員各位の会費で運営されています。会費納入にご協力をお願いいたします。自動振替もご利用いただけます。(お問合せ・事務局06-6944-9040)

郵便振替

口座 00910-9-0309299

名義 近畿税理士政治連盟

金額 13,200円(年額)

磯遊び

夏の海は私の元気の源である。日本海の小浜に行って、漁師さんに船で小島に渡してもらう。水中マスク・フィン・ドライバーを手に、サザエやアワビや蛸をとることに夢中になっている。

サザエは比較的に見つけ易いのだが、アワビは曲者で、岩の割れ目の奥の方に、まるで岩のようで区別が付きにくいのだが、それを独特の穴の形状で見分け、グッと締められる前にドライバーを差込み、外すのである。やっと外したと思ったら海面ははるか頭上にあり、海面に上がるまではほんの数秒しかないのだが、あまりの苦しさには鳥肌がたってしまう。

また蛸の場合は、蛸そのものとの戦いになる。岩の奥から鋭い目でこちらを睨んでいるので、視線を感じて見つけることが多い。そこで勇気を振り絞って、その目に向かって手を突っ込んで蛸を捕まえる。そうすると、蛸の足がヌルヌルと腕をつたってきて、背中あたりまで吸盤に吸い付かれるが、それを我慢して一番近くの岩まで行き、陸に上がって吸盤をはずし、網に入れたら勝利となる。しかし、蛸の吸引力は相当なもので、ひどい時には、吸盤の痕で体中が赤い斑点だらけになってしまうこともある。

陸にあがると、そこまで苦労して(楽しんで?) とった獲物を、刺身にしたり、焼いたり、蛸・サザエご飯にしたりと、海の幸を満喫するのである。

最後に一言、サザエの苦味が嫌いという人には、口とひだの部分を取ると苦味が消え、まるでアワビのようにまろやかな味になるのでぜひお試しください。

(下京支部 笹井雅広)



近税政本部のうごき

- 平成20年度・第1回財務委員会(7月17日)
 - ・第42回定期大会・国政報告会・懇親会の件
 - ・平成19年度会費収納状況について
 - ・平成19年度収支決算の作成に関する件
 - ・平成20年度収支予算(原案)のに関する件
- 平成20年度・第1回正副幹事長会(7月22日)
 - ・第42回定期大会・国政報告会・懇親会の件
- 平成20年度・第1回幹事会(7月22日)
 - ・第42回定期大会・国政報告会・懇親会の件
 - ・選挙区選挙の推薦基準の改正について
 - ・支援後援会に対する助成金基準について
 - ・「名誉会長・顧問・相談役の委嘱基準」の改正について
- 平成20年度・第1回総務会(7月28日)
 - ・第42回定期大会・国政報告会・懇親会の件
 - ・選挙区選挙の推薦基準の改正について
 - ・支援後援会に対する助成金基準について
 - ・「名誉会長・顧問・相談役の委嘱基準」の改正について
 - ・名誉会長の委嘱について

- 選挙2法勉強会及び選挙支援体制の打合せ会(8月11日)

- ・林崎総務省政治資金課長の講習
- ・第45回衆議院議員総選挙に際しての支援体制の確立について

銀河系

広報委員会の仕事に携わってみるとインターネットやメールによる情報の伝達が主流になりつつある今の世の中で、広報誌による活字媒体の大切さを改めて考えさせられる。広報誌を作り上げるまでには実に多くの人の手がかかっている。原稿の依頼、執筆、回収。編集会議では何度も読み返し、誤字や脱字の訂正、執筆者の伝えようとしている意思を最大限に尊重しつつも適切な表現に改めていく。そのような行程を何度も繰り返して皆さまのお手許に届けられるのである。

いよいよ衆議院解散総選挙も行われそうな政治情勢の中で、税政連の活動も一段と慌しくなるであろう。会員一人ひとりの更なる積極的な活動に期待する。